

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小田原市	橘 (下中・前羽)	令和3年3月24日	令和3年3月24日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	112 ha
②アンケートに回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	102 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	68 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	31 ha
うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	25 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7.4 ha
(備考) 玉葱の産地化、ブランド化を促進する。	

2 対象地区の課題

- ・農業者の高齢化と担い手不足により、耕作放棄地が増加している。
- ・玉葱の産地化定着と拡大のためには、更なるブランド化の確立が必要である。
- ・70歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積の合計は31ha(約28%)であるが、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積は7.4haである。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・畑利用については、中心経営体である認定農業者4経営体、基本構想基準到達者1経営体が担っていく。
- ・樹園地利用については、中心経営体である認定農業者2経営体、基本構想基準到達者1経営体が担っていく。